

組子ベッド百報

2011. 11-12 月号 (No. 14)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潴郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースレターは「組子ベッド・販売様向け」に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



本年もよろしくお願ひ致します。

代表取締役

加島清治



1月9日の日経MJ(流通新聞)に、組子ベッド・こちこちが記事として掲載されました。

この日経MJですが、北海道のヨネタふとん店の米田さんがどこにか紹介していたのですが「招客招福の法則—儲けの王道がみえる88の法則」(日経ビジネス人文庫)を読み、本の最後の方に「日経MJ」で連載したものとあったので、取って読んでみようとなりました。2週間ほどして「新製品コーナー」が目にとまり(関心がないと見えてないのですね)、ここに載るには?と配達新聞屋さんに電話したりでしたが、記事の中に書いてありました(^;)

新型組子ベッド"こちこち"と桐マットのどちらかが掲載されればラッキーと思い、別々に郵送。最初はもっとも新製品の"桐マット"。一週間してもまったく反応なし。それで次に、組子ベッド・"こちこち"を送りました。

そしたら電話があり、ちょっとビックリでしたが、ガツガツしないで冷静に対応。最初にくつつかの質問をされました。その後なんとか電話があり、結局掲載は、投稿してから1ヶ月後でした。結構吟味して載せていることが伺えました。

掲載されて一番電話があるのが広告会社。うんと遠いところとか、全国でとかで、タダの話でないからウンザリ。

ともあれ、新型組子ベッド"こちこち"は、こちらが思っている以上に好調な滑り出しです。

(株)総桐筆筒和光



■ 運命の人

1月15日からはじまった、日曜劇場”運命の人”。縁がありまして、当社の一棹単価がもっとも高いタンスを番組のセットとして提供しました。宝珠の間たんすというもので、販売価格では285万円のものです。



番組と同じ雰囲気にはショールームの一部に壁面収納として展示しました。スタジオセットでなくとも、こういうご注文にも応じてます。但し当社では、造り付け家具でなく、置き家具として桐たんすをお薦めしてます。それで左右と上は、多少隙間を設けさせていただいてます。湿気が逃げる為の隙間ということもありますが、桐たんすの精度が家より高いので、地震等でちょっとでも床や柱に狂いが生じると、造り付けだと引出や扉がまったく開かなくなる症状がでてしまう恐れもあるからです。

この一間タンスの引出、扉、引き戸等のレイアウトやサイズは、ずっと以前呉服屋さんからのオーダーでできたものです。左の引出や開き戸には着物、右が帯入れ、右側の開き戸や上の引き戸には、バック、草履等を収納できるようになってて着物関係を1箇所にもまとめられると重宝されています

■ Facebook 内に「快眠生活研究会」

Facebook内に「快眠生活研究会」のグループができました。「快眠生活研究会」とは、布団屋さんを中心に全国の方々と色々と情報交換をする場です。布団のこと、眠りの事、自分ではわからないけど誰かに教えてもらいたい事など、気軽に情報交換していきましょう。皆さん自分の信念もあるかと思いますが、他の方の情報になるべく否定をしない形でこんな考えもあるのだ?とたくさんの考え方や情報を吸収できる場になればという思いでできた研究会。現在17名参加。こちらの管理人は、北海道の"米田 創"さんです。私も参加させていただきます。



■桐製 キッチンマット・玄関マット(フロアマット)



新発売です。桐製のキッチンマット、玄関マット(木製ロールマット・フロアマット)です。

朝晩の厳しい冷え込みは、キッチンや玄関などのフローリング床面を冷やしています。そんな中でも裸足派の方って多いんです！足下を襲う厳しい寒さの対策に、電気を使わない！非電化製品!まさにエコ商品!!!

この桐マット、この上に立ったら、もう他の木製フロアには立ちたくなくなるほど温かいです。桐は他の材とはまったく違う細胞構造にあります。それは発泡スチロールのように空気をため込むような独立気泡体になっていて、自分の体温がすぐ跳ね返るので温かく感じるのです。



〈スノコにレーザー加工〉

組子ベッドは、スノコの上に組子が乗っているという独自の構造(特許)。その元々の発想は、機能、デザイン、寝心地ではなく、ベッドでいい夢を見られるには?、、、でした。

縁起のいい初夢をみるのには、『一富士、二鷹、三なすび』が書いてある絵を枕の下に敷いて寝るといい、と言われている。じゃ〜、ベッドの床材に絵を置いたら、いやいや、それじゃ通気せいが無い。木工屋として絵といえば、書院のランマ。ランマで「一富士、二鷹、三なすび」を作って敷けば、、、。いやいや、それでは体重でランマが壊れる。だったら下にスノコを敷いて、その上だったら。それなら壊れない。でも、細かい部分がやっぱり壊れる。だったら、組子にしたらどうだろうか?で、できあがったのが、組子ベッドです。

そういう発想の原点である『一富士、二鷹、三なすび』をスノコにレーザー加工する方法を思いつきました。やってみたらいい感じです。スノコには線画にしましたが、絵画のようにもできます。とりあえずは、私が使って、いい夢みることにします(^^)

組子ベッドのスノコにレーザー加工は、濃淡がハッキリしている写真や絵画であれば可能です。好きな車、好きなスポーツ、ひいきのチーム、好きなお花、お相撲さんの手がた、サイン、旅行の風景、絵はがき等々レーザー加工のご希望あるならご相談に応じます。加工サイズ600x1000mmまでOKです。

■押し入れ片付け隊

私の知り合い(直線で300M、しかも、PCの受講生)のお布団屋さん、よそ様の押し入れまで管理するという試みをされてます。



FUTON / SAINTE VICTOIRE, 2007年

■げ〜じゅつ？

11月半ばの視点・論点「“油絵茶屋”が浅草寺に」で、小沢剛氏が、“FUTON”というアートを出品していたことを紹介されていました。積んだだけが芸術か？



■竹のベッドは・・・

うちのお客様が使っていた竹製のベッド。昨々年の冬は寒かったようで、昨年秋に組子ベッドご購入。お陰で、いまはとっても快適睡眠とか(^^)

■This is a PEN. (paulownia wood)

This is a PEN.(paulownia wood)

Please attend the showroom of our company.
Please sign with this special pen.
We welcome.

と、ということで、ショールームにご来場される際
ご記入いただくペンを”桐”で作ってみました。



■強制節電(^^;))

うちにはキッチンが2つあります。そのうち一つが、私ら夫婦専用のミニキッチン。ガス器具はなく、すべて電気(^^)系統は2つ。一つは、電気炊飯器と、電気コンロ。もうひとつの系統に他が。電気器具は、**TV、ビデオ、時計、加湿器、オープン、電子レンジ、電気ストーブ、電気ポット**など。赤文字の器具を、うっかり複数台付けると、ブレーカーがガシャンと降ります。ようするに強制節電させられてます(^^))



がんばろうニッポン

(株)総桐筆筒和光

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
自分史あり、ドキュメンタリーでもあります



■私が最初に持った携帯電話



NTTのTZ-803Bです。1991年5月にこの携帯電話を持ちました。アンテナが本体真上から伸びるので、私は”オバケのQ太郎型”と呼んでました。

親父が平成元年、おふくろが平成3年（1991年）になくなり、私が外出した時の非常通信手段でした。ポケベルでは、ピーピーなってから公衆電話となり、それではショールームにこられたお客様とかの即対応ができないので必要に迫られてでした。



バッグには入らない大きさでしたが、どこにいても連絡が取れるのは、留守番しているカミサンには、たいへん安心感を与えてました。なお、現在メインで使っているものは7インチのGalaxy Tabで、必要に応じてXperia(初代)にSIMを差し替えて使ってます。

■左義長



左義長（さぎちょう）とは、小正月に行われる火祭りの行事。どんど焼き、ほんげんぎょう、とも言われるものです。

私の地区では、今年は1月8日行いました。というのも、私が世話前でした。

竹は、トラックに8台分。中心に立つ芯竹は、結構デカイのを、村内の人からいただいてきました。9時～12時まで30名近くの人で作業。晴天無風の中、立派にそびえ立ちました。



この行事は元々は子供達中心で行っていたようですが、子供が少なく、ほとんど大人で組上げ。点火は6：00に行いましたが、ここの所は小学6年生に代表で火入れしてもらいました。ワラが例年より1.5倍は多かったせいか、豪快に火が昇りました。